

新たな総合計画 H29—H38

北陸新幹線の開業によって「ヒト・モノ・コト」の交流がますます活発化していく一方、加速度的に進む人口減少への対応も不可欠であり、まち・ひと・しごと創生による地方創生の取り組みを進める必要があります。

本市を取り巻く社会経済情勢の変化を踏まえ、文化薫る創造力豊かな高岡を市民の皆様とともに築くための指針として、平成29年度からの新しい高岡市総合計画を策定しました。強みを活かし、共創・再発見・発信によって、高岡の未来を市民みんなで創造していきます。

高岡市の強み

文化力

底力を見せる町民文化

経済力をつけ、まちの担い手となった町民が受け継いできた「まちの個性」としての文化

創造力

「稼ぐ力」を持つものづくり産業

付加価値が高く、時代に合った製品を生む技術力とデザイン力を持つ製造業

市民力

高い地域力が生む住みやすさ

活発な公民館活動、三世帯同居など地域全体で社会や家庭を支える高い意識



高岡市の課題

ものづくり産業の復興

若者世代が共感する活力創出

中心市街地のリノベーション

周辺市街地の躍動

高岡駅・新高岡駅の相乗的利活用

地域力の再構築

まちづくりの手法

共創

市民や団体、企業、大学、地域、行政が互いに知恵を出し合い、社会的課題の解決に取り組むことにより、新たなまちの魅力が生まれ、地域の価値が高まります。

再発見

高岡の豊かな自然や歴史・文化を学び、体験することで、地域の魅力を知り、その価値を再認識することができます。その力をまちづくりに活かしていきます。

発信

市民と行政との対話によって、開かれた市政を運営します。また、市民一人ひとりが、高岡の魅力を自分の言葉や行動で表現し、市内外に発信します。

将来像

豊かな自然と歴史・文化につつまれ 人と人がつながる

市民創造都市 高岡

文化力・創造力・市民力という3つの強みを活かし、共創・再発見・発信によって、17のめざすまちの姿を一つずつ形にしていき、市民創造都市 高岡を実現します。

【5つの分野】地域産業、歴史・文化、交流・観光、子育て・教育、安全・安心
【17のめざすまちの姿/分野別目標】
【61の施策】

